

委員会等の会議録の作成について

会議録作成専門業者への委託

内容：録音した音声データを送付して、受託業者でテープ起こしを行い、粗打ち作成後、議会事務局へ送付され、事務局校正後、委員会記録が作成される。

最初の粗打ちデータの事務局への送付は、1週間後から2週間後程度。

費用：作成委託費のみ（1時間あたり平均1万円前後（30分単位で計算））

H23 年度実績（本会議のみ） 約 110 万円

委員会、協議会分の見込み 約 160 万円

音声認識ソフトの導入

内容：会議の場へ音声認識ソフトを持ち込み、会議で発言をした内容をすぐさまデータ化して、粗打ちを作成することができる。事務局校正後、委員会記録が作成される。

会議後すぐに粗打ちが作成できる。

音声を正確に変換できる割合は、一般的に9割（100文字中90文字）程度。

費用：音声認識ソフト、辞書ソフト、編集ソフト等の初期費用が必要。

ソフト等の費用はシステムによりことなるが、おおよそ300万円～600万円程度

ソフトが必要とする能力によっては、新たなパソコンが必要。

ランニングコストが必要。